

例会報告 Rotary



社会奉仕委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 下屋勝比古
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 塚本 直人
- 会報委員長 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

もう3月も終わり、今年度も最終日となりました。卒業式が終われば次は人事異動が盛んに発表されています。県職員の移動は2,034人とか。来週からは新年度となり入学式や入社式などがあり、新年度が始まります。私は人事異動や転勤経験がありませんが、同じ職場の先輩が遠くに行ってしまう。違う地域から後輩が入ってくる。上の階の部署に行く。単身赴任。別れと出会いの季節に桜が演出して日本らしいですね。



さて、先週は「ワインを楽しむ会」を古橋さん野尻さんで企画していただき、希少なワインをたくさん味わいました。徐々に後半わかんなくなり、ワインに失礼でしたが、いろいろな味わいを楽しませていただきました。ちょうど会が始まる頃、大阪では110年ぶりという新入幕力士が優勝するかもという大一番がありましたが、次々に下からいい力士が続いて来場所二人がどのように活躍するか今から楽しみです。

今日お越しの飛騨高山わらべうたの会 理事長 岩塚 久案子さんは、ハンドボールのホーム戦ではMCを務めていただき、元気に会場を盛り上げていただいています。しかも同学年なのです。そのブルズも新人が5名加入して練習を始めています。逆に今シーズン限りで2名の引退も発表されました。これで地元高山市出身者は1名のみとなります。地元選手がいなくなることはさみしいですが、今いる選手が高山に残ってもらえるような街になってくれれば「ハンドボールの街」として発展してもらえるかな〜と期待しています。4月5日は毎週ビッグアリーナで、5試合予定されています。是非皆さん会場へお越しいただき、岩塚さんの軽快なトークと選手のプレーに大きな声援をお願いします。

◎はぐるま会会長より

- ・第206回高はぐるま会開催のご案内
- 日時 4月21日(日) 12:29 スタート
- 会場 飛騨高山カントリークラブ 参加費 2,000円
- 表彰式 山陣にて18:30~ 会費 8,000円

◎(公財)米山梅吉記念館より

- ・春季例祭のご案内および賛助会会へのお願い
- 日時 4月27日(土) 14:00~
- 会場 米山梅吉記念館ホール
- 講演 「米国の歴史：米山梅吉とその時代」
多田幸雄氏 (東京RC)

<例会変更>

- 高山中央 … 4月15日(月)は、定款により 休会
- 4月29日(月)は、法定休日のため 休会

<受贈誌>

- RI日本事務局 (水と衛生月間リソースのご案内)、米山梅吉記念館 (館報43号)

<出席報告>

出席者数	会員数	出席率
24名	36名	70. 59%

<幹事報告>

- ◎ロータリー米山記念奨学会、およびガバナー、ガバナーエレクト、地区米山奨学委員長より
- ・カウンセラー委嘱状
伊藤 松寿 さんへ



- ◎RI 2610 地区ガバナー 原 勉 様より
- ・能登半島支援金への感謝状 台北東海ロータリークラブへ
- ◎ガバナー事務所より
- ・能登半島支援金について
第2630地区 支援金 4,444,206円 3月18日送金
- ◎ガバナー、ガバナーノミニーより
- ・次年度のガバナーエレクト事務所について (お知らせ)
次年度ガバナーエレクト事務所は地区事務所と同じ場所とし、次次年度ガバナー事務所とする

<本日のプログラム> 社会奉仕委員会

委員長 高井 道子

本日の社会奉仕委員会担当例会には、NPO 法人飛騨高山わらべうたの会 理事長の 岩塚久案子さんにお越しいただきました。プロフィールをご紹介します。岩塚さんは福井県の敦賀市のお生まれで、群馬県から高山市へ21年前お嫁に来られ今年還暦を迎えられるということでした。高山市社会福祉協議会の副会長、高山市社会教育委員、新宮町まちづくり協議会副会長、福祉関係等連絡協議会子育て支援部会の会長、高山市森づくり委員、また飛騨高山ブラックブルズ岐阜のホーム戦MCをされています。子育て支援活動に長く携われているその活動についてお話しいただきます。よろしくお願ひいたします。



例会報告



「飛騨の子どもの現状と課題」

～すべての子どもが笑顔で過ごせるまちづくりのために～

NPO法人飛騨高山わらべうたの会 理事長 岩塚 久菜子 様

本日はこのような機会を頂きまして、誠にありがとうございます。「飛騨の子どもの現状と課題」を皆様にお話をさせて頂いて、その課題を解決するためにどのような子育て支援活動をしているかについてお話をさせて頂きます。

【課題その1】 子どもの貧困問題

この高山市に給食だけが唯一の栄養源、という子どもがいます。コロナ禍1年目、休園・休校期間に子どもだけで留守番している家庭などにバナナココアスムージーをお届けする、というプロジェクトを実施しました。合計222杯のスムージーをお届けした時に発覚したのが、ご飯を食べられていない子どもがいる、という事でした。朝とお昼が菓子パン1個だけ、ポテトチップ1袋だけ、という家庭を目の当たりにして、この高山にご飯が食べられていない子どもがいる、という実態を痛感しました。

【課題その2】 母親の孤独・孤立問題

日本一広い高山市。広い地域に集落が点在しているこの高山市は、児童センターは市の中心部に設置されていて、支所地域にも子育て支援拠点はありますが、スタッフが常駐ではありません。

また、子育て親子向けイベントは市中心部で開催される事が多く、加えて、各まちづくり協議会には乳幼児親子を対象とする部会がない所が多い為、そもそも広い高山市で子育て親子が孤立してしまいがちという地理的な課題がありました。

そこへコロナ禍が襲いかかり、休園・休校、児童センター等の休館、赤ちゃん教室や検診の中止、イベントの中止や外出の自粛などにより、たくさんの子育て親子が困窮、孤立という状況に陥ってしまいました。

「子どもを連れてどこに行ったらいいの?」「子育ての事どこに相談したらいいの?」「子育てが辛い...」といった悩みを抱えた母親が、虐待やネグレクトといった、深刻な状況に陥ってしまうケースも見られました。

これらの課題を解決する為に様々な事業を実施しています。

【わらべぼ宅食】

市内の飲食店に作ってもらったお弁当を、支援を必要とする家庭にお届けする事業を始めました。

ふりかけをかけたご飯だけ、レンジでチンしたおかずだけ、といった深刻な状況にある家庭に、栄養満点のお弁当をお腹いっぱい食べ

られる機会を提供させて頂いています。現在は月2回、およそ120食のお弁当をお届けさせて頂いています。

小学生ボランティアにカレー弁当を作ってもらおうという事業も実施しました。

【森カフェ】

ひとり親家庭、困窮家庭を対象に、月に1回、森のエコハウスで楽しく過ごして頂く機会を作っています。

クリスマス会やバーベキューなど、家ではなかなか作れないイベントを楽しんで頂いています。

【食料支援、お野菜お届けプロジェクト】

宅食や森カフェの際に、県社協や市のフードバンク、企業からご寄付頂いたお米や食料品をお渡ししています。生理用品なども喜ばれています。

昨年は物価の高騰、特に野菜の高騰が困窮家庭を直撃し、「カレーの玉ねぎを3個から1個にしました」「サラダは週に1回だけです」と、ますます困窮に陥る家庭が多く見られた事もあり、規格外野菜を農家から譲り受け、困窮家庭にお届けするプロジェクトも始めました。

【めぐる制服プロジェクト】

「制服が買えない」という相談を受けて、各家庭で不要になった中学・高校の制服を寄付して頂き、必要な家庭にお渡しする事業も実施しています。

【各まちづくり協議会と協働しての居場所作り】

孤立・孤独問題を解決する為に、各まちづくり協議会と協働して、「親子で楽しむワイワイカフェ」という事業を実施しています。地域に住まう親子同士、更には地域の方々をつながる機会を作って、地域の中で孤立しない環境を作っています。

【ファミリーサポート（託児）】

「子育てがしんどい」「子どもをちょっと預かってほしい」という声にお応えする為に、ファミリーサポート事業という託児事業を2年前から始めました。

地域の方々にもご協力頂き、「今から子どもを預かってもらえませんか?子どもをなぐってしまいそうです」という子育てでいっぱいいる状況にある母親がちょっと一息つけるような機会を作ってさしあげたり、「学級閉鎖になってしまって...。自分は仕事に行かないといけなくて、子どもを預かってもらえますか」といった声にもお応えしています。昨年は年間2,000件の利用がありました。

【商業施設に「つどいの広場」開設】

母親や保護者が気軽に子どもを連れて立ち寄ることができるひろばをショッピングセンターに開設しています。スタッフが常駐しているので、そこで、子育ての様々な相談に対応しています。

「誰一人取り残さない子育て支援環境を作る」、という事を目標に、これまでお話ししてきた課題に向かっています。昨年はこれらの取り組みを評価して頂き、「防災・減災×サステナブル大賞」という賞を頂きました。

これからも「こういうものがあったらいいな」「こういう事、やってもらえないかな」という、子育て家庭の想いをカタチにしていけるような活動をおこなっていきたくと思っています。

例会報告

子ども達が『お腹いっぱい!』『うれしいな...』って、希望を持ってすくすくと育っていただけますようにー
お母さんたちが「楽しい!」って子育てを楽しんでもらえますようにー 飛騨で育つ子ども達一人一人に寄り添って、笑顔あふれるまちを創っていきたいと思います

ご清聴誠にありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

本日は3月の最終例会です。暖かかった2月にクラブ3月は雪が降ったり雨が降ったり、寒い気候でした。桜の開花も少し遅れているようです。本日は社会仕委員会担当例会です。ゲストの飛騨高山わらべうたの会理事長 岩塚 久案子 様のご来訪を歓迎いたします。卓話を楽しみにしています。

●高井 道子さん

本日は春めいた日で社会奉仕委員会の担当例会です。NPO 法人飛騨高山わらべうたの会理事長 岩塚 久案子 様をゲストに迎え卓話をして頂きます。長年子育て支援の活動をされ現在も大活躍してみえます。今日は楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。

●挾土 貞吉さん

自らの不注意で入院し例会休みました。この間迷惑とご厄介おかけしました。林様への弔電、古橋さん有難う。お礼はこのニコニコで。

●岡田 賛三さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、米澤 久二さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、鴻野 幸泰さん、垣内 秀文さん、杉山 和宏さん、佐藤 貴史さん

『黄砂に負けない』3月は意外と寒かったのですが、昨日からようやく暖かくなってきました。春はすぐそこにと、気持ちはワクワクしています。このワクワク感を消すように明日から極めて多くの黄砂が襲って来るそうです。黄砂に負けず、桜の季節を楽しみましょう。

人間力を高める

第26回

平 義孝

私は昭和60年4月、島 卓三さんのご紹介で入会させて頂きました。当時は、まだ若く仕事一筋働盛りでしたので、何もわからままの入会でした。週に1度の出席は大変でした。当時はバブル景気でも大変忙しい毎日をすごしていました。諸先輩の皆様には、何かとご指導を頂き大変勉強させて頂きました。

私は山都印刷を経営しており当時はパンフレット、チラシ、書籍、伝票等の印刷物の制作で忙しい日々を過ごしておりました。当時は印刷の手法はまだ活版印刷もあり活字を1本1本を文選し、手間と時間がかかる作業でした。カラー印刷は4色で構成されており、1色づつ丁寧に刷重ねたものです。活版からオフセット印刷に、更にはデジタル印刷と移り変わり、時代の進化とともに私も高齢になり、時代について行くことも困難になりました。現在は隠居の身となっております。これからは自分に置かれた環境の中で、みなさんに迷惑をかけることなく、楽しく暮らしていけることを願っています。

高山西ロータリーに入会して39年になりました。皆様にはロータリー活動で大変お世話にな感謝しております。また活動を通してさまざまな事を学ぶことができました。

ロータリーの「4つのテスト」の中に①真実かどうか②みんなに公平か③好意と友情④みんなの為になるかどうか? 今、改めて立ち止まり、振り返ってみますと、ロータリー活動は私の人生の中でもかけがえのない経験をもたらしてくれました。

長い間、誠にありがとうございました。